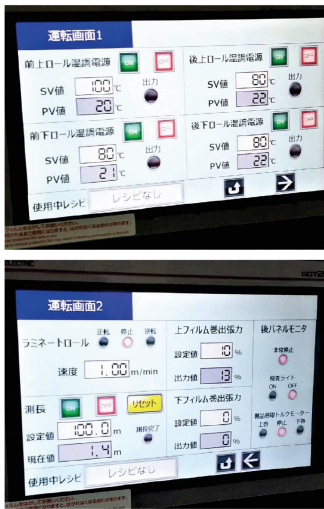


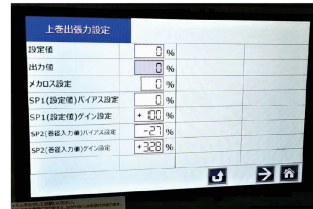
セミスタンダードモデルでここまで出来るようになりました。

VA-770 最新バージョン



フィルム張力自動制御

一般的なラミネーターはフィルム軸芯に重さを掛けることでブレーキ（張力）としています。フィルム巻出径が作用点で軸芯が力点となりますので、テコの力の働きで、軸トルクが一定のままだとラミネート使用によってフィルム巻出径が減少した時、相対的にブレーキ力が増大していきます。本モデルには、フィルム外径を測定して軸トルクを減少させるテンションコントローラー[※]を搭載しており、フィルムに加わる張力を一定化するを可能としました。



※ 張力のフィルム外径測定自動制御自体は従来からある技術です。今回、新たに上市されたコンパクトなテンションコントロールユニットを採用することで、本装置の駆体サイズへの組込を実現しました。

張力設定／詳細補正はタッチパネルにて行います。

フィルム外径測定センサー

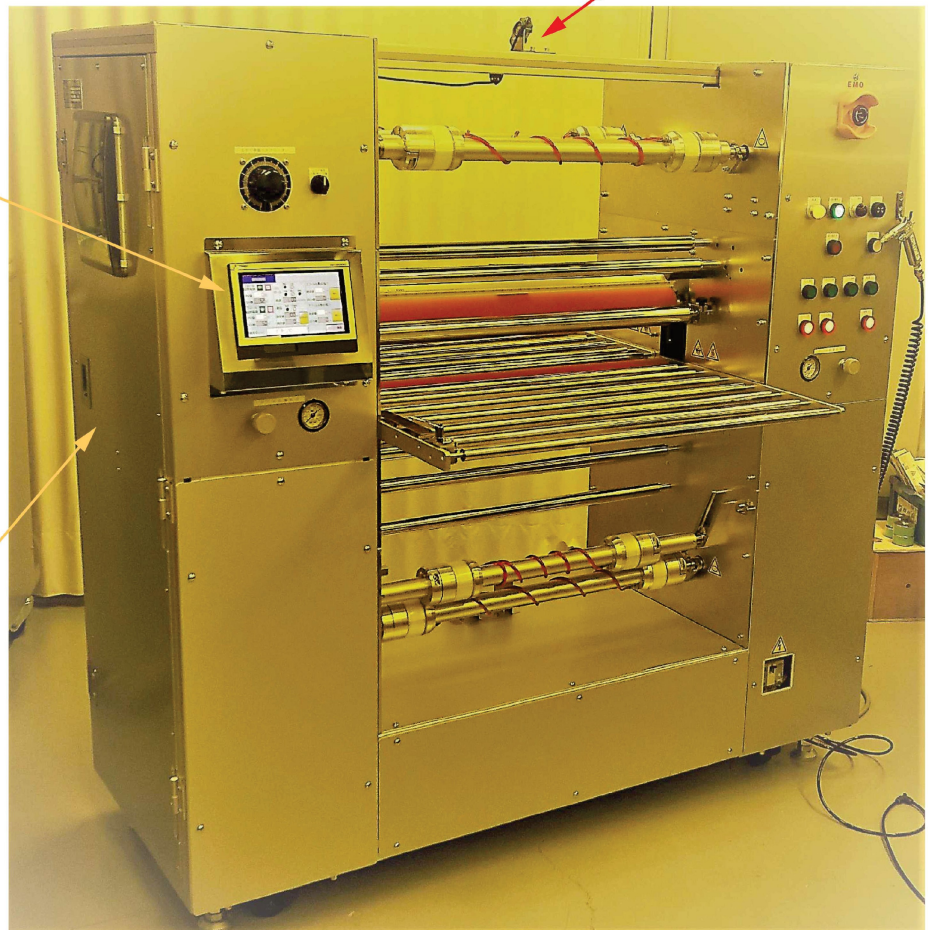
運転条件一括視認 レシピ登録にも対応

タッチパネルにより、
・ラミネート温度
・ラミネート速度
・フィルム張力
の設定と、一括視認が行えます。

各条件をレシピ登録することが可能ですから、生産条件の異なる複数種製品を製造する場合、設定ミスなどのリスクが軽減されます。

メンテナンス性向上 クリーン度も向上

装置外装に、アルミニウム枠を立てアルミパネルによる扉式としました。これによりメンテナンス性が向上しました。
また、従来の鋼板塗装カバーのような塗装の欠け・剥離による錆もおきません。
柱状の枠で補強されていますから、SUS製箇カバーよりも凹みなどの変形もおきにくくなります。



ロール to ロール 対応オプション

張力自動制御と併せて各種オプションを搭載することでこのクラスとしては従来なかったロール to ロール対応を可能としました。

各種機能は、御要望に応じて提案させていただきますのでお申し付け下さい



ラミネート量測長機能

しわ伸ばしロール

基材偏肉補正用
ガイドロール
角度可変機構



安全対応 ライトカーテン



ラミネート状態確認用バックライト

